

千葉県若手医師等グループの概要

グループ名	千葉地域志向型プライマリ・ケア研究会							
グループの活動目的	千葉地域志向型プライマリ・ケア研究会は、千葉県内で地域志向型プライマリ・ケアの実践と学びを推進するグループです。地域診断などの手法を通じて地域の健康課題を明らかにし、医師・医学部生・地域住民・多職種が協働して課題解決に向けた取り組みを行っています。これまでに山武郡横芝光町や勝浦市での地域診断をはじめとするフィールドワークを実施し、地域に根ざした実践と教育の循環を目指しています。							
代表者	横芝光町立東陽病院 内科／千葉大学大学院 医学研究院 長谷部 圭亮・大学院生							

1 構成員

区分別 人数	医学生（県内） 大学院生	3人	医学生（県外） 医師（県内）	1人 0人	臨床研修医 医師（県外）	0人 0人	専攻医 その他	0人 0人
-----------	-----------------	----	-------------------	----------	-----------------	----------	------------	----------

<主な所属>

千葉大学大学院 医学研究院、千葉大学・国際医療福祉大学・東邦大学(地域枠)

2 今年の活動計画

時期	実施予定内容
1～3月	地域診断計画策定、地域診断の準備（既存資料の収集・住民ヒアリング計画）
4～6月	地域診断の実施（フィールド調査・アンケート・ワークショップ）、健康課題の整理と共有 ※ 地域診断計画策定内容によって実施内容は変更になります
7～9月	明らかになった課題に基づく地域活動の実践（例：健康教室・交流イベント）、多職種連携の促進 ※地域診断計画策定内容によって実施内容は変更になります
10～12月	活動成果の振り返り・報告会、次年度計画の検討、若手医師・地域関係者の交流会 ※地域診断計画策定内容によって実施内容は変更になります

3 前年の活動実績（登録1年目は入力不要）

(1) 学習活動

時期	活動概要（学習テーマ等）	参加人数	
		対面	Web

(2) その他の活動

（この欄は登録1年目は入力不要）
